

〈報 告〉

---

日本フィヒテ協会会務報告

---

Der Tätigkeitsbericht der Japanischen Fichte-Gesellschaft

鈴木伸国

Nobukuni SUZUKI (Tokio)

2022年4月現在 会員100名(一般会員84名,  
国内特別会員1名, 海外特別会員15名)

1) 委員会

第76回委員会(2022年11月13日インターネッ  
ト上の遠隔会議で開催)

第77回委員会(2023年4月30日インターネッ  
ト上の遠隔会議で開催)

2) 第38回大会

2022年11月20日(日)、第38回大会がオンライ  
ンで開催された。

〈特別講演〉ブラハテンドルフ教授(チュービン  
ゲン大学)

「最初期フィヒテの「カント主義的」宗教哲学  
——『あらゆる啓示の批判の試み』(1792年)に  
おける啓示宗教の概念について——」

〈シンポジウム〉「フィヒテとスピノザ」

提題者：

入江幸男「自由意志に対するスピノザの批判  
とフィヒテの擁護」

米虫正巳「フランスで出会ったフィヒテとス  
ピノザ」

司会：加藤泰史

Die 38. Tagung der Japanischen Fichte-  
Gesellschaft (20. Nov. 2022, Online)

〈Sondervortrag〉Prof. Dr. Johannes Brachtendorf  
(Tübingen)

Die „kantianische“ Religionsphilosophie des frühesten  
Fichte – zum Begriff der Offenbarungsreligion

in *Versuch einer Kritik aller Offenbarung* (1792)

〈Symposium〉Fichte und Spinoza

Yukio IRIE (Nara), „Spinozas Kritik des freien  
Willens und Fichtes Verteidigung – Inflationäre  
Freiheit vs. deflationäre Freiheit“

Masami KOMEMUSHI (Nishinomiya),  
„Fichte und Spinoza aus der Perspektive der  
französischen Philosophie“

Leitung: Yasushi KATO (Nagoya)

3) フィヒテ協会賞/Fichte Preis

フィヒテ研究の水準を刷新する優れた単著  
の研究書に対する「日本フィヒテ協会フィヒ  
テ賞」(第二部門)は山口祐弘会員に授与され  
た。若手会員の研究促進と業績発表を奨励す  
るための「日本フィヒテ協会 研究奨励賞」は  
平井涼会員に授与された。

〈日本フィヒテ協会フィヒテ賞(第二部門)受  
賞者〉Fichte Preis

山口祐弘 Masahiro YAMAGUCHI

〈受賞対象作著作〉

『フィヒテ哲学の行路』(知泉書館、2021年)

Fichte auf dem Weg zum Absoluten (Chisen  
Verlag, 2021)

〈授賞理由〉

山口氏の受賞対象となった『フィヒテ哲学  
の行路』は、長年にわたるフィヒテ研究の成  
果を一冊にまとめられた労作である。まず一  
研究者によって、知識学全体の展開を論じた  
著作は、日本では隈元忠敬氏に次ぐ画期的な

試みである。しかもカント、ラインホルト、シュルツェ、シェリング、ヘーゲルとの関係の考察、なかんずく氏のヘーゲル研究に基づいた考察は、著書の白眉をなすものであり、特筆すべき点である。綿密にフィヒテの主要著作を論じつつ、一貫してその自己展開を明確にした業績は、現在のフィヒテ研究の到達点ともいえるものであろう。

以上の理由により、氏の本著作をもって「日本フィヒテ協会フィヒテ賞」の受賞に該当するものと評価する次第である。

〈日本フィヒテ協会 研究奨励賞 受賞者〉  
Förderpreis

平井涼 Ryo HIRAI

〈受賞対象業績〉

「ノヴァーリスにおける反基礎づけ主義の哲学をめぐって」(『フィヒテ研究』第29号、2021年)

Zur ‚antifundamentalistischen‘ Philosophie von Novalis: eine Perspektive auf Fichte und

Jenaerromantik, *Japanische Fichte-Studien*, Bd.29, 2021

〈授賞理由〉

本論文は、フィヒテとノヴァーリスのテキストの精密な読解にもとづき、かつ先行諸研究を適切に踏まえつつ、いかにノヴァーリスがイエーナ期のフィヒテ知識学を換骨脱胎しつつ独自の哲学に到達したかを、きわめて説得的に示し得ている。ことに、ノヴァーリスのフィヒテ知識学への理解と批判からかえってフィヒテの1794年知識学の構造が明快に表出される過程は、フィヒテ研究に大いに貢献するものと見られる。またいわゆるノヴァーリスが取った「反基礎づけ主義」がかえってフィヒテ知識学の深い理解を示すものと見られ、それはさらに現代科学論にもその射程におよぶものがある、と考えられる。

以上の理由により、氏の本著作をもって「日本フィヒテ協会 研究奨励賞」の受賞に該当するものと評価する次第である。

日本フィヒテ協会役員(2022年度～2024年度)

Vorstand der Japanischen Fichte-Gesellschaft (2022-2024)

会 長：大橋容一郎

Präsident: Yoichiro OHASHI

常任委員：入江幸男 美濃部仁 湯浅正彦

Geschäftsführender Vorstand: Yukio IRIE, Hitoshi MINOBE, Masahiko YUASA

委 員：板橋勇仁 内田浩明 岡田勝明

勝西良典 隈元泰弘

パトリック・グリュエネベルク

櫻井真文 杉田孝夫 鈴木伸国

田端信廣 辻麻衣子 中川明才

浜野喬士 舟場保之 山口祐弘

嘉目道人

会計監査：伊藤貴雄 庄子綾

幹事：尾崎賛美

Vorstandsmitglieder: Yujin ITABASHI, Hiroaki UCHIDA, Katsuaki OKADA, Yoshinori KATSUNISHI, Yasuhiro KUMAMOTO, Patrick GRÜNEBERG, Masafumi SAKURAI, Takao SUGITA, Nobukuni SUZUKI, Nobuhiro TABATA, Maiko TSUJI, Akitoshi NAKAGAWA, Takashi HAMANO, Yasuyuki FUNABA, Masahiro YAMAGUCHI, Michihito YOSHIME

Rechnungsprüfer: Takao ITO, Aya SHOJI

Schriftführer: Sambi OZAKI

『フィヒテ研究』編集委員会

委員長：舟場保之

委 員：板橋勇仁 勝西良典

パトリック・グリュエネベルク

櫻井真文 辻麻衣子 浜野喬士

美濃部仁 嘉目道人

Redaktionsausschuss

Vorsitzender: Yasuyuki FUNABA

Mitglieder: Yujin ITABASHI, Yoshinori

KATSUNISHI, Patrick GRÜNEBERG, Masafumi

SAKURAI, Maiko TSUJI, Takashi HAMANO,

Hitoshi MINOBE, Michihito YOSHIME

日本フィヒテ協会賞選考委員会

委員長：岡田勝明

委 員：入江幸男 隈元泰弘 杉田孝夫

田端信廣 山口祐弘 湯浅正彦

Fichtepreis-Ausschuss

Vorsitzender: Katsuaki OKADA

Mitglieder: Yukio IRIE, Yasuhiro KUMAMOTO,

Takao SUGITA, Nobuhiro TABATA, Masahiro

YAMAGUCHI, Masahiko YUASA

事務局(2020年度～2022年度)：鈴木伸国

Geschäftsführung (2020-2022): Nobukuni

SUZUKI